

令和8年度公開プロセス結果（概略版）

府省庁名 文部科学省

事業名 高等専修学校における多様な学びを保障する先導的研究事業

事業の概要

高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校に求められる職業教育機能を強化しつつ、「学びのセーフティネット」としての役割も踏まえた社会的・職業的自立が実現できるモデルカリキュラム等の開発とその普及啓発を行う。

公開プロセスにおいて踏まえられた「点検の視点」※

※「租税特別措置・補助金見直しに関する関係閣僚等及び副大臣会議（第2回）」において示された、国民からのご提案を踏まえた各府省庁における自己点検の視点。
（参考）[各府省庁における要求・要望に向けた自己点検](#)

- 政策目的と手段を精査し、公平で目的に即した政策設計・運用を徹底すべき。

有識者からの主な指摘事項

- ロジックモデルの整理を評価するとともに、優良事例を生み出す攻めの視点と、学びのセーフティネットとして地域に必要な機能を維持する守りの視点の両面から事業を進め、それらが成立したプロセスを共有することが求められる。
- モデルごとに生徒への効果を把握し、その上で他校への横展開を重視した設計を行うことが必要である。また、横展開する際には、導入数などを把握するとともに、不登校経験者の進路選択において高等専修学校の選択状況を示していくことが求められる。
- 中学生及びその保護者を含めた広く一般への周知等、認知向上に向けた取り組みを進めるとともに、その認知度に関する指標設定が必要である。